Art Exhibition

セドリック・ブレナール展「iGrow」 Cedric Bregnard Exhibition「iGrow」

2010 年 7 月 2 日 (金) ~11 日 (日) 会場: スパイラルガーデン (スパイラル 1F)

生命と自然をテーマとした、スイスの若手写真家の初個展

2010 年 7 月 2 日(金)~11 日(日)まで、スイスを拠点に 活動する若手写真家、セドリック・ブレナールの個展を開催 します。

1974年生まれのブレナールは、1998年にスイス・ヴヴェイの写真学校を卒業し、現在はローザンヌにアトリエを構えて作品を制作しています。彼の写真は、「種子」や「植物」をクローズアップで撮影し、被写体の細部を露わにすることによって、神秘的な世界を提示します。彼の作品は、私たちの傍に常に存在しながらも、普段は捉える事のできない視覚の世界へと誘います。

彼の作品制作の中心には、「生命はどのようにして潜在的生命力からほとばしりでるのか」という、生命の神秘への問いかけがあります。種子や種子の発芽にこだわり、たたずむ写真家のまなざしは、自然の造形美への深い尊敬の念を湛えています。生命と自然のもつとも美しい表情がゆっくりと時間をかけて写し取られ、巨大サイズに引き伸ばされた種子や若芽は、息をのむほどの存在感を放ち、種子のつぼみはそのはかなげな見かけの下に、花を咲かせる凝縮したエネルギーを携えていることに気づかされるのです。

今回の「iGrow」展は、地球上に存在する二つの大きな力、 自然と人間の生きる関係がテーマです。人間は自然によっ て、自身の「自然」を思い出すことができるかの問いが、作

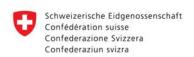


品を通して投げかけられます。「iGrow」には、どこまでも 発達していくテクノロジーと「I grow(育つ)」、常に次の状態に移り変わろうとする、自然の性質を表わしています。

本展では、彼の作品を「Doors(扉)」、「Amaryllis(アマリリス)」、「Fly(飛行)」、「Vital Energy(生命のエネルギー)」、「Origin(源)」、「Jungle(ジャングル)」と名付けられたシリーズごとに展開します。

掲載や取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

◆スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 清水さえみ、加藤美穂、四元朝子(よつもとともこ) TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 E-mail press@spiral.co.jp WEB http://www.spiral.co.jp/





展覧会タイトル:セドリック・ブレナール展「iGrow」

会期:2010月7月2日(金)~11日(日) 会場:スパイラルガーデン(スパイラル 1F)

時間:11:00~20:00 無料

住所: 〒107-0062 東京都南青山 5-6-23

TEL: 03-3498-1171(代)

主催: セドリック・ブレナール展「iGrow」制作実行委員会

協賛:イヴェルトン市、FAP

助成:スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団、イルフォード、サカエ・シュトゥンツィ基金

ロンザジャパン株式会社、ノバルティス ファーマ株式会社

企画制作:スイス大使館、スパイラル

Cedric Bregnard セドリック・ブレナール

スイス・ジュラ地方で生まれ育つ。スイス・イヴェトン市(Yverdon)在住。

ローザンヌ市中心のポアン・ルージュ・ギャラリー(Point Rouge Gallery)に自身のアトリエを持つ。

2000 - 2006スイス・ヴヴェイ応用芸術学校及びローザンヌの ERACOM

(芸術・コミュニケーション学校)で | 及び写真を教授

1998 ヴヴェイ応用芸術学校写真科卒

【主な個展】

2008	アニエス・マルテル・ギャラリー、スイス・パンピニー
2007	エスパス・デュ・リオンドール4、スイス・ローザンヌ
2004	ギャラリー・エスパス・サン・フランソワ、スイス・ローザンヌ
2003	グランジュ・ド・ドリニー・ギャラリー、スイス・ローザンヌ
2002	フランス文化センター、フィンランド・ヘルシンキ
2002	リヴ・ヌーヴ・ヴィルヌーヴ、スイス・ローザンヌ
2002	ギャラリー・アブストラクト、スイス・ローザンヌ
2002	世界貿易センター、スイス・ローザンヌ

【主なグループ展】

2009 コネクション、USEGO、シエール

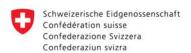
2008 住まいと庭展、パレドボリュー、美術家協会、ローザンヌ

2003 Mortalis 展、オランダ・ハーグ写真美術館

2002 反戦争のイメージ展、リヒトブリック ギャラリー、ドイツ・ケルン

1998 ペルピニャン・フェスティバル、フランス

1998 スパツィオ・デル・ヴォルタ・ギャラリー、イタリア・ジェノヴァ等多数







展示予定作品

I、「Doors(扉)」 Series

来場者を真っ先に迎えるのは、ひまわりの花が咲いた後に残る萼片で出来た、 花冠の扉です。その扉はふたつの世界(人間と植物)へといざなう 通り道を象徴しています。



II、「Amaryllis(アマリリス)」 Series

「アマリリス」シリーズは、可憐な花を咲かせる植物ですが、 9 枚の連続写真の中に、生・死・生という生命の循環を映し出しています。



Ⅲ、「Fly(飛行)」Series

「飛行」シリーズでは、通路に敷き詰められた種子が、 風に乗って羽ばたいています。それぞれの種子は、新たな成長に好適な場所を 見つけ出します。この作品は、時を超越した生命の「通り道」を表現しています。



Ⅳ、「Vital Energy(生命のエネルギー)」 Series

「生命のエネルギー」シリーズは、種子の核から樹枝状に放射される複雑なネットワークを描いた作品で、「生命のエネルギー」の姿そのものを示しています。巨大な種子を貫く光は、美しく夜に浮かんでいるようです。



V、「Origin(源)」 Series

「源」シリーズは、日常の中にある植物の世界を見渡し、 芯と外殻、内面と光輝く外面を彷彿とさせます。 自然は膨大なる豊かさと力強さの中にあることを表現しています。



VI、「Jungle (ジャングル)」 Series

「ジャングル」シリーズの風景は、熱帯雨林を撮ったいくつかの写真を、 1枚に合成した作品です。巨大な風景は、来場者の視線を覆い尽くし、 自然と生命の源に満ちる豊かさを、子細に渡って見せてくれます。



写真すべて:©Cedric Bregnard

